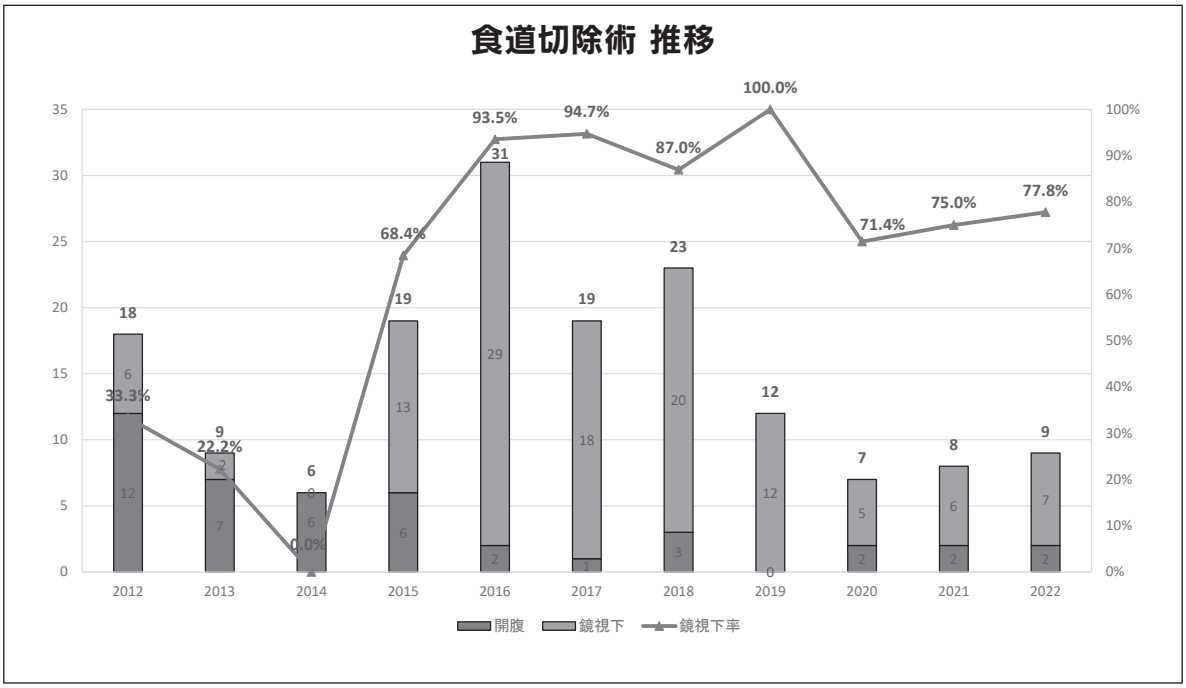
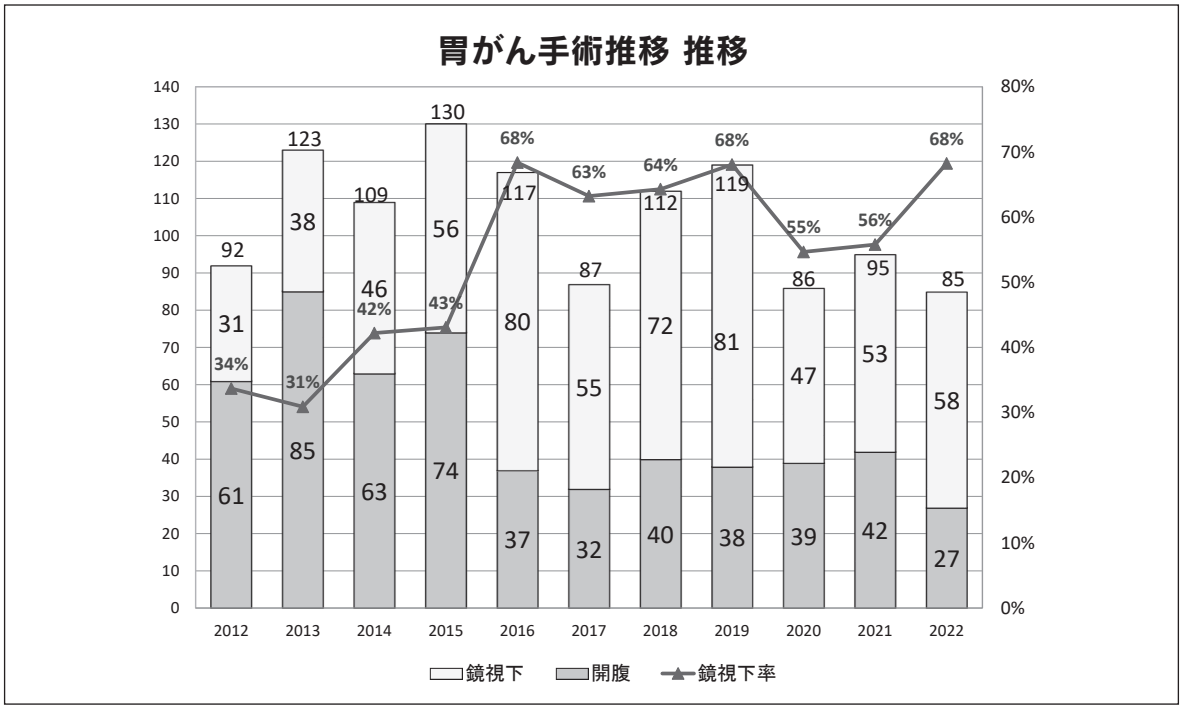
20. 消化管・内視鏡外科

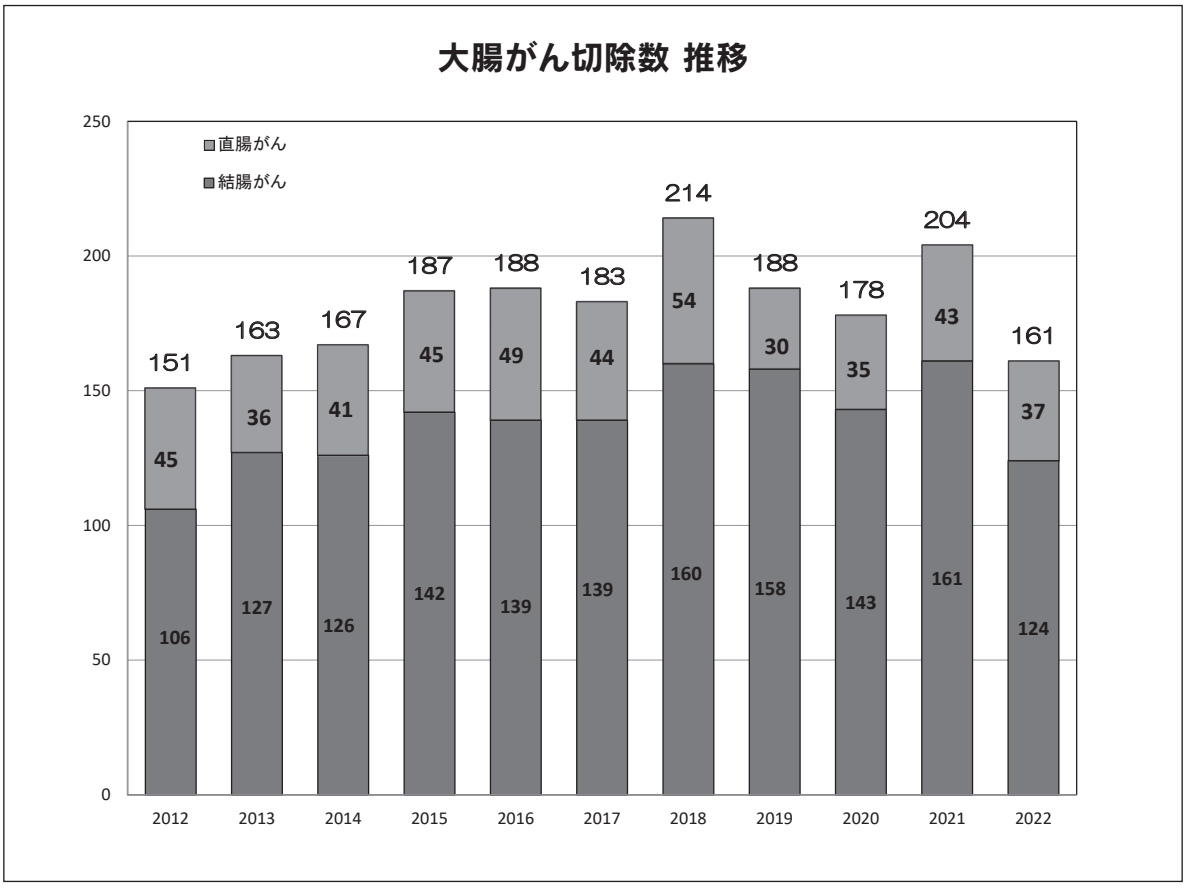
消化管・内視鏡外科部長　古賀　聡

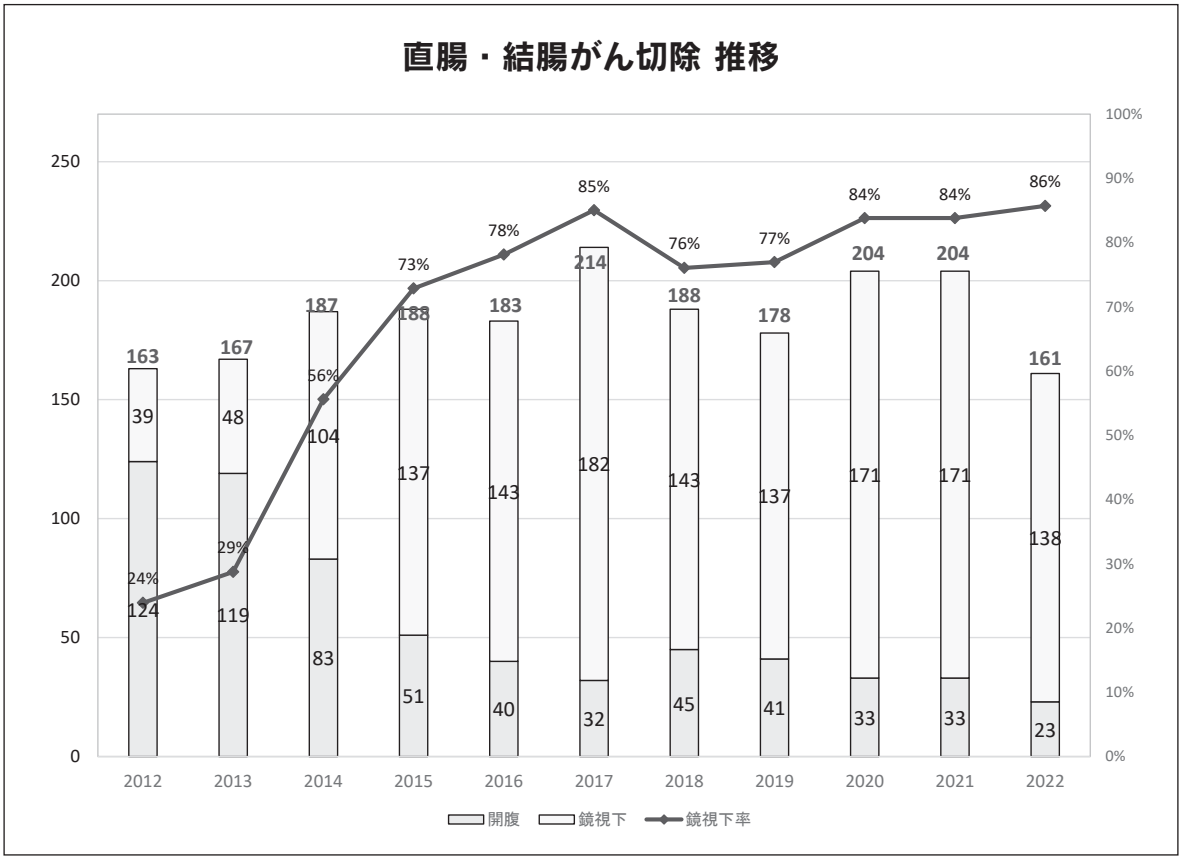
2021年の外科人事の大幅減少のまま2022年が始まりましたが、４月５月７月と医師増加となり、元の体制に戻ることができました。特に外科統括部長の就任、消化管外科スタッフの増員、外科専攻医の増加は期待を上回りました。一方で､コロナ禍の影響や昨年の人員減の影響が続き、その回復のための工夫が必要です。さて、食道手術は大学からの専門医応援継続で９例と維持、胃がん手術数は85例で10例減、結腸/直腸手術は161例と43例減でした。しかし、2022年４月には当院でも胃癌手術のロボット手術支援装置の導入を認められ､６月には第一例目を行いました。以後、安全にロボット手術が施行できており、全例(18例)が術後大きな合併症なく退院できています。今後も安定した技術で患者さんへのより高度な医療提供を実現し続けていきたいと存じます。

今後とも関係各機関の皆様には、温かいご声援とご協力をよろしくお願いいたします。






大腸がん切除数 推移
直腸がん
結腸がん
250
200
150
100
50
0
151
163
167
187
188
183
214
188
178
204
161
45
36
41
45
49
44
54
30
35
43
37
106
127
126
142
139
139
160
158
143
161
124
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022


直腸・結腸がん切除 推移
250
200
150
100
50
0
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
163
167
187
183
214
188
178
204
204
161
39
48
104
137
143
182
143
137
171
171
138
24%
29%
56%
73%
78%
85%
76%
77%
84%
84%
86%
124
119
83
51
40
32
45
41
33
33
23
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
開腹
鏡視下
鏡視下率